



第 1366 回例会報告

平成26年5月25日(木)晴

会長挨拶

副会長 御子柴文夫

「環境整備活動に思う」

本日は下諏訪中学校の14歳15歳になる選抜された生徒さんと共に環境整備活動のため 国道142号線和田峠西餅屋の山中に朝から参りました。

全地域で本日は環境整備活動が行なわれております。従って会員の活動も分散しております。

今から21年前 当時の厚生省の音頭で日本全国でゴミの減量化運動が起こり5月30日の語呂あわせて「ゴミゼロ」の週間活動が行なわれ、空き缶の持ち帰り運動や不法投棄防止運動が行なわれました。

現在は 資源の再利用運動が取り入れられており 5月30日頃の都合の良い日を選んで環境浄化活動となりました。

廃棄物再利用化の中で必要な費用をまかなうため廃棄物有料化が実施されておりますが 電気製品の廃棄料金を免れるためか山に捨てて行く人もおります。

山から流れ出た水を利用して生活している私達です。お集まり頂いた方々には ゴミ集めに集中するだけでなく 今後の生き方に思いを馳せて頂ければ幸いです。

第 1366 回例会

「国道142号線清掃奉仕」

社会奉仕委員会担当例会

恒例の環境の日に合わせて国道142号和田峠線沿清掃奉仕を、下諏訪中学校の皆さんと一緒にいたしました。本年は諏訪中学校登内俊秀校長もご参加いただき、有意義な奉仕を行うことができました。

数年前より、旧国道沿いの清掃がほぼ終わったため、現国道の旧道部分や危険な急傾斜地の清掃を町より依頼されるようになりました。

本年の清掃依頼された区域も現国道の旧道で西餅屋茶屋跡の周辺でしたが「ペットボトルがほとんど捨てられていないから、ずいぶん昔のゴミだね」とある会員が指摘していました通り、鉄や木はもう10年もすれば土に戻ってしまうような古いゴミでした。それでもプラスチックは土に還りそうもなく、懐かしいスパイクタイヤを含めたタイヤの廃棄は10数本に上り、ほぼ自動車1台分を捨てたと思われるゴミまでありました。

メンバー及び中学生、先生のご参加本当にご苦労様でした。

■出席報告

会員数 37名
出席対象 36名
出席者数 現地 20名
地元地区参加集計中

■ニコニコ BOX

本日はありませんでした。

■今週のことば

本日はありませんでした。





清掃前に記念撮影



校長先生ごあいさつ



副会長、委員長あいさつ。

